

○インフルエンザ制圧のための基礎的研究

喜田 宏 北海道大学教授

科研費

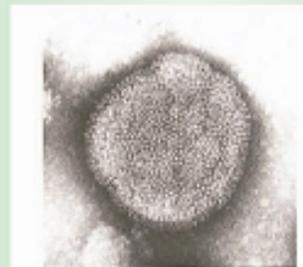
「A型インフルエンザウイルスの感染性の抗体による中和の機序に関する研究」(昭和58年度～ 一般研究(B))

抗体がウイルスの感染性を中和する新規メカニズムを発見。



・家畜及びヒトの新型インフルエンザウイルスの出現機構の解明と抗体によるウイルス感染性中和の分子的基盤を確立。

- ・鳥インフルエンザの感染拡大を防止。
- ・家畜衛生、公衆衛生、予防医学に大きく貢献。



インフルエンザウイルス
A/duck/Hokkaido/5/77 (ISN2) 株